




課題と対策

領域	FY24課題	FY25対策
ガバナンス	シャドーIT・アプリ乱立	ガイドライン制定による統制 (不要アプリ廃止など)
開発者育成	トレーニング・サポート体制の不足	学習カリキュラム拡充 サポート要員の育成
新規ユーザー減少	新規ユーザー獲得 継続利用の不足	サンプルロボ提供などプロモーション強化




市民開発の最新動向

-  **労働力不足の深刻化:**  
2025-2040年にかけて生産年齢人口が減少、業務効率化が急務。  
市民開発は全社員のDX人材化を通じた解決策として注目。
-  **技術革新の影響:**  
ローコードツールの進化により非IT人材でもアプリ開発が可能に。
-  **効果の顕在化:**  
業務自動化アプリ内製化による生産性向上事例が増加。

各指標の変化

指標	FY2023	FY2024	変化	変化率
利用者数	431人	422人	-9人	-2.1%
開発者数	29人	36人	+7人	+24.1%
稼働中ロボ数	22体	40体	+18体	+81.8%
開発中ロボ数	22体	41体	+19体	+86.4%
削減時間	10.35千時間	13.96千時間	+3.61千時間	+34.9%
削減金額	65百万円	85百万円	+20百万円	+30.8%

ポイント

-  **開発者数:** 29人 → 36人 (+24.1%)  
スキル習得者の増加により活動が活発化し、裾野が拡大。
-  **ロボット数:**  
稼働中: 22体 → 40体 (+81.8%)  
開発中: 22体 → 41体 (+86.4%)  
自動化範囲の拡大と開発ベースの加速が顕著。
-  **効果指標:**  
削減時間: 10.35千時間 → 13.96千時間 (+34.9%)  
削減金額: 65百万円 → 85百万円 (+30.8%)  
業務効率化の成果が大幅に増大。

グラフ

